



真新しい春の訪れ！

部長 松本 安博

麗らかな春の光の中で、鳥が歌い季節の花が咲く季節となりました。見るもの聞くものすべてが、新たな門出を祝福してくれているようです。

初等部便りを書いている今日は、春休み期間で登校日ではありませんが、初等部グラウンドから元気な子どもたちの声が聞こえてきます。賑やかなその声に誘われて初等部グラウンドに出てみますと、この三月に卒業したばかりの「クローバー」（学年の愛称名）の子どもたちが、ドッジボールを楽しんでいました。そして、その周りでは、下級生も混ざって鬼ごっこをしていました。聞くと誰となく声をかけ合い、お世話になった先生に挨拶をするために集まったとのことでした。影が重なりながら、勢いよく駆け回る姿を見ていますと、勉強にスポーツに、何事にも全力を尽くした心優しい卒業生のことが、改めて思い起こされました。

卒業式の日、松本講堂での式の後、「クローバー」の子どもたちは、在校生がつくる列の間をパレードして、巣立ちの挨拶を交わしました。そして、私がパレードの最後について歩いてきたときのことでした。低学年の子が「部長先生、これを渡してください。」と、綺麗なお花の形に折った折紙を私に託しました。卒業生の一人に渡そうと待ち構えて、一人一人の顔を追っていたのですが、探し切れずに全員が通り過ぎてしまったとのことでした。その折紙の中には、よく面倒を見てくれたお礼の言葉が書いてあるとのことでした。



【岩瀬キャンパスの桜の木 28.4.4 撮影】

私は、午後に開かれた「お祝いの会」でその心温まる出来事を紹介しました。そして、会終了後にそと宛名の卒業生にその折紙を届けました。

私は、卒業式の祝辞の中でも「最高学年の自覚をもった下級生から慕われる卒業生です。」と話しましたが、本当に下級生から慕われる自慢の卒業生でした。新たに最高学年となった「きずな」の子どもたちも、この伝統をしっかり引き継いでいってくれるものと願っています。

出会いと別れの春。明日4月7日（木）には、46名の可愛い新入生が入学式を迎えます。スクールカラーの緑色の真新しい制服に、ピカピカのランドセル。新しい友だち、新しい先生との出会いにワクワクドキドキ、期待に胸を弾ませながら登校して来るのを楽しみにしていきたいと思います。

—— 新入生のみなさんへ ——
こんな子になってほしいな！あいうえお！

- (あ) あいさつができる子
- (い) いっしょうけんめいがんばる子
- (う) うたやうんどうがすきな子
- (え) えほんがすきな子
- (お) おてつだいができる子

高度情報化社会の光と影。社会の出来事に目を向けますと、その影を感じる事が決して少なくありません。ややもすると本来だれもが持っているはずの温かで穏やかな心情が、どこかに置き去られることが無きにしも非ずのようです。

初等部におきましては、今年度も各ご家庭と手をつなぎ心を結んで、思いやりと労わりの心豊かな人間性の育成に努めていきたいと考えています。新しい学年・学級の体制につきましても、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。